

efit+ for TCU Ver.1.4.7.0 アップデート概要

2020年4月
株式会社 ニコン・トリンプル

本書では、efit+ for TCU Ver.1.4.7.0 で追加、変更された機能の概要を説明します。

ソフトウェア構成表

◆efit+ for TCU Ver.1.4.7.0 の製品構成は下記の通りです。

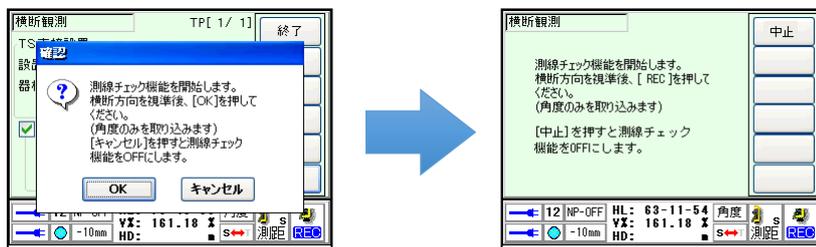
製品名	コード	備考	改良
efit+T 測量基本ソフト	B-E1-T00	基本キットに含まれます	ハンプリモードでレーザポインタをONにできるようになりました。
efit+T 測量観測	B-E1-T50	基本キットに含まれます	測設の方向角画面に座標観測を追加しました。
efit+T 測量計算	B-E1-T51		
efit+T 線形計算	B-E1-T52		
efit+T 縦横断観測	B-E1-T53		測線設定でTS操作が行えるようにしました。
efit+T 平板観測	B-E1-T54		
efit+T GPS観測	B-E1-T55		
efit+T オートフォーカスOP	B-E1-T56		
efit+T 地籍観測	B-E1-T57		
efit+T Nikon通信OP	B-E1-T58		
efit+T 定点観測	B-E1-T59		
efit+T i-Construction	B-E1-T60		
efit+T シュアスキャン	B-E1-T61		簡易3Dマップ機能を追加しました。

バージョンアップ項目

Trimble S7

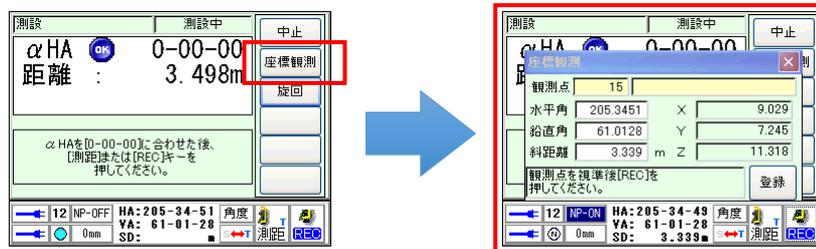
◆横断観測

・横断観測の測線チェック画面で器械回転機能(ハードウェアコントロール機能)を利用できるよう改良しました。



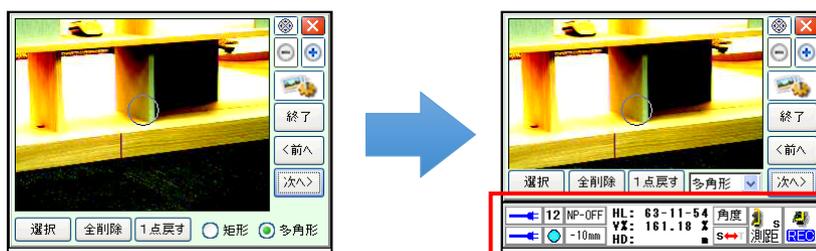
◆測設

・測設の方向角画面(水平角を測設方向へ合わせる画面)に座標観測機能を追加しました。

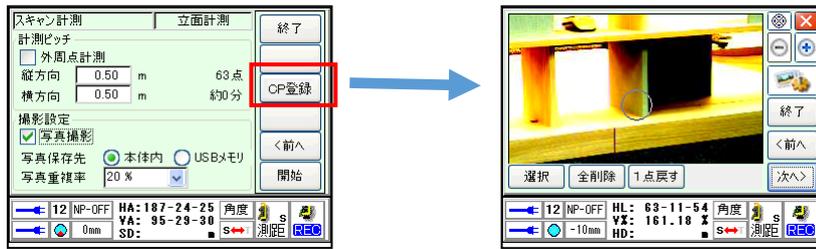


◆スキャン計測

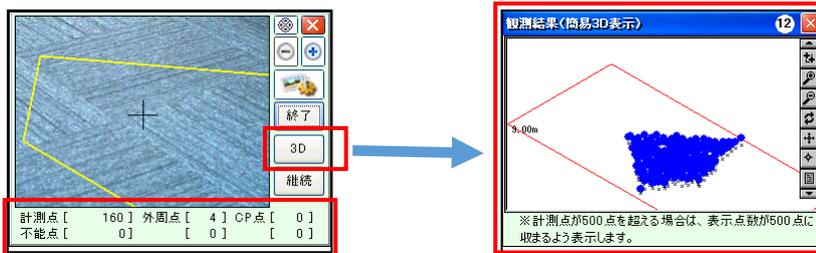
・スキャン計測の計測範囲の選択を REC キーでの選択が可能に改良しました。これにより、望遠鏡を視準した状態で ENT キーの選択で計測外周点を効率的に選択できるようになりました。



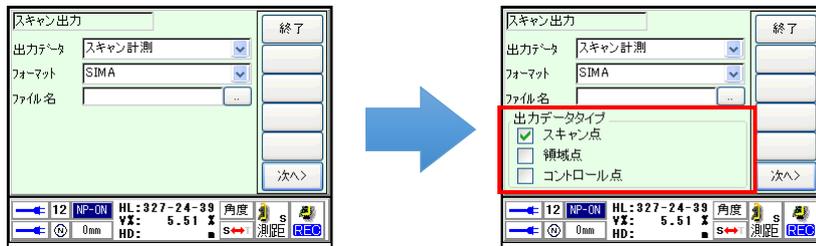
・スキャン計測で撮影した写真データの位置合わせのため、座標値が明確な点(コントロール点)を別途計測可能に改良しました。データ出力にて「コントロール点」を計測データとは別に出力できる仕様となっています。



・スキャン計測結果を視覚的に確認するために、簡易 3D マップ機能を追加しました。
 ・スキャン計測結果画面に計測結果の表示機能を追加しました。



・スキャンデータの出力処理で「計測点」「外周点」「コントロール点」それぞれの点の種別毎に出力可能にしました。



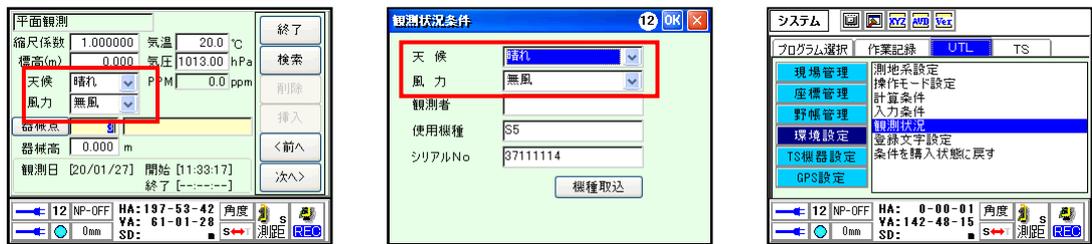
◆機能メニュー

・ロボティックモードの場合のみ、ノンプリモードでもレーザーポインタを ON に出来るよう改良しました。



◆平面観測

・平面観測の気象条件と環境設定の観測状況条件「天候」「風力」を同一に管理するよう改良しました。



以上